

◆甲府市社会教育委員の会議「提言書」 令和6年度 公民館取組状況

公民館	選択	目標	取組状況（9月30日現在）	取組状況（1月31日現在）
中央公民館	2(5) 地域の交流拠点としての公民館づくり	地域住民がより使いやすい公民館づくり	調理実習室のガスの使い方の手順書（取扱説明書など）を新たに作成した。	引き続き、館内掲示物の整理整頓などを通じ、利用しやすい公民館を目指している。
遊亀公民館	2(7) これから期待する学びの創出	多様なジャンルの講座の提供	各講座（教室）の定員を20名以上とした。すべて定員以上の申し込みがあり、計画通りの実施となった。 小学生対象講座 5/7実施 料理実習を伴う教室 0/2（12・1月に実施予定） 土・日曜日開催教室 4/10実施 歴史教室 1/3実施	講座を充実させるために定員を増やし、受講率は小・中学生を対象とした講座107.0%、一般向け98.1%、全体で102.1%となった。子供向けの体験教室の充実、若年層をターゲットにした講座や本公民館の特性を生かして休日開催を行った。 小学生対象講座 7/7実施 料理実習を伴う教室 2/2実施 土・日曜日開催教室 9/10実施 歴史教室 3/3実施
北公民館	2(7) これから期待する学びの創出	住んでいる地域の歴史を知る講座の開催	地域の愛着を増し、住み続けたいと思う心の醸成に繋げるため、自分が住んでいる街の歴史や成り立ちなどを知ることができる北公民館地域の歴史探訪（加牟那塚古墳、万寿森塚古墳など）の1月頃の開催に向けて、歴史文化財課と調整している。	1月31日、歴史文化財課の職員の協力得て、加牟那塚古墳、万寿森塚古墳を探訪した。参加者19名。
南西公民館	2(1) 館内表示・館内案内の見直し	利用者に分かりやすい情報発信	館内の掲示物やレイアウトを整理し、文字を大きくし、文章も簡潔に改めた。また、図書室の利用を促すため、入口に案内の追加を行った。	チラシをジャンルごとに分け、開催日順に整理した。
東公民館	2(4) 地域における安全・安心の場としての活用	防災教育の啓発活動の実施	「避難所で役立つ！資機材の使い方」や「今こそ備えよう！いざという時のために」など、3本の動画を随時1階ロビーのテレビで随時上映を開始した。	引き続き、防災動画の上映を随時行っている。
北東公民館	2(1) 館内表示・館内案内の見直し	利用者に分かりやすい情報発信	視覚的にわかりやすい掲示方法にするために情報を整理し、パネルに見出しデザインを設置するとともに、伝えたい情報を分類・整理し、利用者の動線を考慮しながら掲示・設置を行った。	配置の修正や見出しポップの更新をしながら、継続して情報発信を行っている。
南公民館	2(1) 館内表示・館内案内の見直し	利用者に分かりやすい情報発信	視覚的にわかりやすい掲示方法にするためポップを作成し、広報関係・国関係・県関係・市関係・福祉系等に棚やテーブルをジャンル分けして表示し、開催日順に掲示した。	更に一部の表示を拡大した。
	2(7) これから期待する学びの創出	住んでいる地域の歴史を知る講座の開催	地域の方々に地域の歴史を知っていただくため、山城地域の天津司の舞など歴史的・文化・史跡に関係する題材に絞って講師を探すと、来年度の講演会開催に向けて調整している。	講師は担当課に引き受けてもらう予定となった。また、地元の保存会からも、子供たちにレプリカを準備して触れられるように準備してくれるなど協力の申し出をいただいている。
西公民館	2(7) これから期待する学びの創出	連続講座の開催	知識やスキルの向上につなげるため、「ウォーキング教室」「心と身体の健康教室」「身体の痛みを自分で改善講座」など、同一講座を複数回に分けて実施した。今年度は新たに「英会話教室」を実施する予定である。	スポーツ・健康分野（正しい歩き方、痛みを自分で改善するセルフ整体）において月3回の連続講座を2種開催し、教養分野（英会話）は月3回の連続講座を1種実施した。 講座を複数回設けることにより、参加者の能力向上や新しい知識の浸透などを図ることができた。
中道公民館	2(5) 地域の交流拠点としての公民館づくり	若い世代及び地域住民が気軽に集える空間の提供	広い世代に活用していただくため、中道公民館利用案内のチラシを作成し、甲府市中道交流センター入口に掲示した。これにより、平日の夕方や土日に地域住民や学生等による利用が増加した。	平日の夕方や土日に地域住民や学生等の利用が増加した。引き続き公民館利用案内のチラシの掲示、声掛けを行っている。